

おたより

はびねす nursery school

2021年

７月号

NO.4

暑さも日々増してきて、本格的な夏がすぐそこまできています。

入園・進級から３ヶ月が過ぎ、子どもたちも活発さが増してきて、活動にも自信が見られるようになってきました。

はなぐみ（０歳児）さんは、すきなあそびを見つけて行動範囲も広がり、かわいい笑顔をたくさん見せてくれています。つきぐみ（１歳児）（２歳児）ほしぐみ（３歳児）そらぐみ（４・５歳児）のお友だちは、園庭や近くの公園などで、体を存分に動かしてあそんだり、室内では<u>うた</u>・<u>体操</u>・<u>製作</u>などに励んでいます。たくさん汗を流した後は、一息つける「くつろぎコーナー」を設けたり、水分補給、衣服の調節、室温管理などに気をつけ、コロナ対策をしながら健康にすごしていきたいと思います。



七夕

天の川をはさんで
離れているおり姫と
ひこ星は年に一度７月７日
の夜に神様から会うことが許されています。
七日の夜には、カササギの群れが羽を広げ、
天の川に橋を架けるそうです。おり姫は「ベガ」、
ひこ星は「アルタイル」カササギは「デネブ」
という星で３つを結ぶと夏の大三角になります。
晴れた日は、お子さんと夜空をながめて天の川
の話をしたり（短冊に書いた）願い事の話を
したりして親子のすてきな時間をつくってください。

空腹、感じていますか？

「座って食べない」・「なかなか食べ終わらない」・・・など食事に関して困ったり、心配されている声をよく聞きます。子どもの胃は小さく、少しの間食で満腹になるので、原因はお腹がすいていないのかも？

園では、おやつや給食など時間が決められています。お家ではどうですか？

空腹感を大事にしましょう！食事時間は20～30分を目安にし、“あそび食べ”が始まったら切り上げることも必要かと思います。



苦情状況について
４月・5月・6月はありませんでした。

７月うまれのおともだち

みき　ひなたちゃん（平成27年７月31日）
おおはら　ゆずちゃん　（令和元年７月４日）

〈水あそび 始まります〉



垣根の剪定、園庭の草取り、テント設置が終わり、いよいよ水あそびが始まります。

子どもたちが楽しみにしているプールは、様子を見ながらになると思いますが、できる範囲で水・砂・泥んこあそびなど夏ならではのあそびを充実させたいと思います。

初めての経験となる子もいます。心地良さや皮膚が強くなる効果もある水あそび。怖い子には無理せずゆっくりと進めていきたいと思います。



〈準備をよろしくお願いします〉

水着
水泳帽子
タオル
　をビーチバッグに入れ、９日（金）までに持ってきてください。

はなぐみは、大きいクラスのような水あそびはしません。テラスでお水（お湯）あそびをしたり、沐浴などをして暑い夏を気持ちよくすごせるようにしたいと思います。
（水着の準備はいりません。）

夏は水・砂などを媒介としていろいろな病気が感染しやすくなります。

すり傷や切り傷・虫刺されなど皮膚の状態をよく観察するようにしてください。

園では、虫よけ対策で虫よけスプレーやムヒパッチなどを使用することがあります。

使ってほしくないものがありましたらお知らせください。

夏の感染症

夏風邪には、高熱、発疹、目の充血や痛み、喉の腫れや痛みを伴うものがあります。
（プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病など）



いつもと違う子どものサインを見逃さず、早目に受診をし、医師の正しい指示を受けてください。

何より大切なことは、規則正しい生活をして免疫力を高めることです。



視線を合わせたり指さしは、
自分から働きかける
コミュニケーションの第一歩。

この視線を共有することが子育てに大切です。

スマホやタブレットでは、この視線を交わして共有することはできません。

大切な子どもから“目を離さない”、“手を離さない”、“心を離さない”子育て、楽しんでください。



寝冷えに気をつけましょう。

暑い夜、大人の感覚でクーラーや扇風機をつけっ放しにしたり、布団をかけずに寝たりすると、寝冷えをしてしまいます。

クーラーの設定温度を調節したり、タイマーを利用するなどして寝不足にならず、快適な夜がすごせるよう工夫しましょう。



もう一度、確かめてください。

先日「お知らせ」を配布しましたが、オリンピック・パラリンピックに合わせて今年の祝日が変更しています。

７月１９日（月）は平日となり、保育園は開所しています。
７月２２日（木）は海の日
７月２３日（金）はスポーツの日　で祝日となり、保育園は閉まります。

お間違えないようよろしくお願いします。



そらぐみさんが水やりをしたり、草を取ったり、添え木をしたり・・・丹精込めて世話をしている夏野菜が元気に育っています。花が咲き、実がつき、色づいてきている様子を観察し、生長していく様子を見ることで親しみがわき、野菜嫌いが克服できると栽培は大成功です。











